北海商科大学　講義概要（シラバス）

2026年度

科目名	特殊講義Ⅲ（北海道創生プログラムA）	科目コード	1619	単位数	2
担当者名	複数担当教員	開講セメスター	第5セメスター	開講年次	3年次
授業の方法	講義	到達目標	C,F	実務経験	無
ナンバリング	DSp503	※DP（ディプロマポリシー）と到達目標の関連性については、カリキュラムマップ参照			

授業のねらい

本授業は、令和6年度に本学と札幌市が締結した連携協定に基づき、札幌市職員の方々にも参画いただきながら実施する、「まちづくり人材」の育成に向けた導入科目です。
札幌市を対象に、まちをどのように構想し、活力あるまちを実現していくのかを考えるとともに、地域資源や生業（なりわい）との関わりを踏まえ、まちづくりへどのように寄与できるかを描けるようになることを目的とします。そのために、まちに対して深い眼差しを持ち、多面的に理解する力を養います。

到達目標

(1) まちに対して深い眼差しを持ち、現状と課題を整理して説明できる。
(2) まちと向き合い、個性と活力に満ちた、愛されるまちづくりに向けた構想を立てることができる。

授業内容

1週目 オリエンテーション：本科目の目的・到達目標の確認／授業の進め方／グループワークの基本（役割分担・合意形成・記録）／「まちを見る視点」導入。【池ノ上・千葉】
2週目 【札幌のまちを見つめ、まちづくりにつながる地域の個性を知る編】
テーマ1：景観・都市空間
札幌の都市計画・都心開発の概観を踏まえ、景観の保存・変容を考える。
【池ノ上】
3週目 【札幌のまちを見つめ、まちづくりにつながる地域の個性を知る編】
テーマ2：暦・祭り・芸術
YOSAKOIソーラン祭りを題材に、歴史的発展と地域への波及を整理し、魅力向上について考える。
【千葉】
4週目 【札幌のまちを見つめ、まちづくりにつながる地域の個性を知る編】
テーマ3：食文化・食イベント
札幌の「食」のイメージ形成要因を整理し、魅力ある食イベント（担い手・場・発信・継続性）を考える。【千葉】
5週目 【札幌のまちを見つめ、まちづくりにつながる地域の個性を知る編】
テーマ4：まちの情報の可視化（基礎スキル版）
地域資源・課題の所在を地図で可視化する方法（GoogleMaps等）を学び、製作する。
【池ノ上・澤内】
6週目 【札幌のまちを見つめ、まちづくりにつながる地域の個性を知る編】
テーマ4：環境・地域交通
交通計画の変遷と持続可能な交通の考え方を学び、生活者視点にたって課題を整理し、持続可能性に向けて考える。【千葉】
7週目 【札幌のまちを見つめ、まちづくりにつながる地域の個性を知る編】
テーマ5：担い手（多様な人）・共創型ビジネス
まちの個性を生み出す多様な担い手（市民・企業・NPO・外国人等）による共創型ビジネスの事例を学び、学生が参画可能な共創型ビジネスのアイデアを考える。【池ノ上】
8週目 【札幌のまちを見つめ、まちづくりにつながる地域の個性を知る編】
テーマ6：暮らす外国人（留学生含む）
生活課題・支援ニーズを把握し、学生が実践可能な支援・参画の形を考える。【千葉】
9週目 【札幌のまちを見つめ、まちづくりにつながる地域の個性を知る編】
テーマ7：雪対策
人口減少時代の雪対策の課題と方向性を学び、雪対策の未来について考える。【千葉】
10週目 【札幌のまちを見つめ、まちづくりにつながる地域の個性を知る編】
テーマ8：札幌市のまちづくり政策・計画
計画の方向性（持続可能性・都市価値向上・共創等）を踏まえ、若者が「住み続けたい」と感じる条件や政策について考える。【池ノ上】
11週目 【まちづくり(まちを動かす)を構想する編】
解決策に向けた構想づくり①【池ノ上・千葉】
12週目 【まちづくり(まちを動かす)を構想する編】
解決策に向けた構想づくり②【池ノ上・千葉】
13週目 【まちづくり(まちを動かす)を構想する編】
発表に向けたエスキス【池ノ上・千葉】
14週目 【まちづくり(まちを動かす)を構想する編】
全体発表【池ノ上・千葉】
15週目 【まちづくり(まちを動かす)を構想する編】
全体発表【池ノ上・千葉】
16週目 振り返り・講評。但し、やむを得ず、15週目までの授業内容を実施できなかった場合は補講授業を行う。

準備学修（予習・復習）の具体的な内容及びそれに必要な時間

事前:授業の最後に翌週の予習箇所を指示しますので、その資料の事前学習をしてください。(60分)
事後:授業終了後、講義内容を振り返ったまとめを指定する方法で提出して頂きます。(60分)

成績評価の方法・基準

授業内課題の提出物80%
構想発表20%

履修上の留意点

・授業に関するお知らせは、manabaから行います。常に受信・確認できるようにしてください。
・私語や遅刻等で注意を受けても改善しない学生は、不合格となることがあります。
・ゲストスピーカーの講話があります。聞く態度に気をつけてください。
・グループワークを多く予定しています。人の好き嫌いなどは受け付けません。
・PCでの資料閲覧、検索、グループワーク、資料作成がありますので、毎時間ご自身のPCを持参ください。(教室に潤沢な電源がありませんので、PCの充電を済ませて持ち込みください)

課題に対するフィードバックの方法

ディスカッションやグループワークの成果物に対し、フィードバックをします。

テキスト

特になし。必要に応じてmanaba内で必要な資料を配布します。

参考書

西村幸夫＋國學院大学地域マネジメント研究センター『観光まちづくりの展望』(学芸出版社)2,600円
國學院大学地域マネジメント研究センター『「観光まちづくり」のための地域の見方・調べ方・考え方』(朝倉書店)2,700円

更新日付

2026/02/25 05:46